

## 七夕ボランティア20周年を迎えて

- 1 自治体名 日本 (JAPAN) 富山県 (Toyama pref.)
- 2 発表者 射水市立新湊西部中学校 生徒会
- 3 活動名 七夕ボランティア
- 4 活動期間 1985年～現在 (年に1回実施)
- 5 活動場所 庄川河口付近 河川敷
- 6 活動参加人数 約300名 (2005年度)
- 7 活動をはじめた経緯

今から約20年前、庄川河口付近の河川敷は上流や海から流されてきたり、捨てられたりしたさまざまなゴミでいっぱいであった。1985年の春、あまりのゴミの多さに心を痛めた本校の女子生徒数名とその家族が、休日を利用して河川敷のゴミ拾いを始め、やがてその活動は、生徒会を中心とした他の生徒にも広まり、全校生徒が参加するボランティア活動になった。

日本には古くから伝わる「七夕伝説」という物語がある。その物語にちなんで、この活動を毎年7月7日に実施することにし、「七夕ボランティア」と名づけられた。

2004年に20周年を迎えたこの活動は、年々参加者が増え、現在では地域の小学生や高校生、老人クラブ、ボランティアサポーターなど、多くの人々が参加する行事となっている。

### 8 発表要旨

#### (1) この活動が始まった経緯

20年前の庄川河川敷の姿はひどいものであった。不法投棄によるガラスびんや廃材、タイヤやプラスチック容器などが散乱していた。それを見たある女子生徒の母子が友人を誘い、休日の朝に河川敷のゴミ拾いを始めた。これが後に新湊西部中学校の生徒会行事となる「七夕ボランティア」のはじまりである。

私たち生徒会は一昨年、この活動を始めた折橋さんという方と対談し、当時の様子や経緯を直接お聞きすることができた。

なにしろ当時は「ボランティア」という言葉すら一般的ではなかった時代である。この活動が、折橋さんたちの尊い気持ちから始まったことを知り、改めてボランティアの意義について考えさせられた。(写真は当時の新聞記事)

#### (2) 「七夕伝説」について

七夕伝説は中国で発祥し、日本に伝わった物語である。

天の川を隔てて輝く、わし座の1等星アルタイル (牽牛星)・彦星と、こと座1等星ベガ (織女星)・織姫は夫婦であった。たいへんな働き者であった2人であったが、夫婦になったとたんに仕事が手につかなくなってしまったため、怒った織姫の父・天帝は2人を天の川の兩岸に隔ててしまい、7月7日の七夕の夜だけ逢うことを許した、というストーリーである。

この物語にちなんで、この活動を「七夕ボランティア」と命名し、年に一度7月7日に庄

川の両岸でゴミ拾いを行っている。庄川が、夜空に輝く天の川のように美しい川になるまで、私たちは続けていくつもりである。

### (3) 昨年度（発表時は今年度）の七夕ボランティアの様子

本校の近隣には新湊小学校、新湊高校といった学校があり、庄川を隔てた対岸にも中伏木小学校という学校がある。清掃活動を通して、互いの交流を深めるとともに、地域に住む者として、地域の美化活動を活性化させたいと考え、こうした近くの学校にも協力をいただいている。また、地域のボランティアや老人クラブの方々にも声をかけ、昨年度も多くの参加者があった。

約1時間の清掃活動であるが、それでも大変な量の廃棄物を拾うことができる。多いのはプラスチックや発泡スチロールの容器、空き缶や空きびんなどで、大きい物だと家電製品や車の部品もよく見つかる。ゴミを調べると、陸地での不法投棄も多いが、海からの漂流物も多く、地域の活動だけではどうにもならない現状にむなしさを感じることもある。

### (4) 現在の庄川河川敷の様子

現在の庄川河川敷は、一時期の大変な状態と比較すると、確実に美しい環境を取り戻していると思う。しかし雨で川が増水したときや、台風の後など、水辺には多くの漂着物が散乱する。河口付近の六渡寺海岸でも、常にゴミが海面に浮遊している状態である。

もちろん日本製のゴミが多いが、最近ではロシア語や韓国語が印刷されているゴミもよく見付き、不法投棄による海洋汚染は国際的な問題であることを実感する。

そして、ゴミの中には古いものも多く、何年もの間海を漂流していたことを伺わせている。現在海を漂っているゴミも、これから何年もかけてこの河川敷に漂着してくるということである。

### (5) これから地域で生活する者として

七夕ボランティアで拾うことのできるゴミには、中国や韓国、ロシアといった外国製のものも少なくない。当然、日本のものはそれ以上にある。ということは、この日本海での廃棄物による汚染は深刻であり、当然中国や韓国といった国々の海岸線でも日本のゴミが同様に漂着しているのだろうと思うとぞっとする。

まず、私たちがこれから河川や海にゴミを絶対に捨てないようにしたい。一度水辺に流されたゴミは、簡単には回収できないからだ。

また、この七夕ボランティアが20年以上も続いたことは素晴らしいことだと思うが、別の言い方をすると、20年続けてもゴミを一掃することはできなかったということだ。したがって私たちは、今まで人間が河川や海に流したゴミ、これらを海がすべて吐き出すまでこのボランティア活動を続けていき、10年後、20年後に、本当にゴミのない庄川をこの手で取り戻したいと考えている。